

令和元年度冬祭りの報告

12月14日、今年も冬祭りを開催しました。今年はなんと！クリスマスツリーを作りました！！花紙をちぎって高くから花吹雪のように落としてみたり、いがいがのボールに絵の具をつけて転がしてみたり、はたまたま正統派にオーナメントを作ってみたりと様々な飾り付けをしました。ご利用者、ご家族、職員、皆が一つになって作ったクリスマスツリーはとても見応えがありました。イベントではボランティアの「ミックスボイシズ」さんがゴスペルを披露して下さいました。歌声に透明



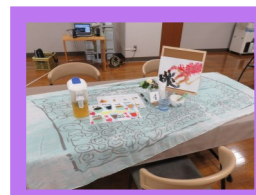
感があり聞いていて何か神聖な気分になりました。選曲もシーズンにピッタリの曲を選んでいただき、和らぎ苑が冬一色に染まりました。皆様のご協力のおかげで、今年の冬祭りがとても充実した一日になったのではないかと思います。ありがとうございました。来年の祭りも、より一層楽しめる物を企画していきますので、何卒よろしくお祈りします。

和らぎ苑での活動～和い和いクラブ・グループOT活動編～

和い和いクラブは、月に2回の頻度で活動しているクラブです。入所されているご利用者や通所のご利用者に交流の場を設け、外出・クッキング・創作活動を通して交流を深めていただくことを目的としています。今年度の活動としては、近隣公園の外出・ハロウィンやクリスマスの飾り作り・豆腐アイスの作製や、ポッチャ大会を4回実施し、楽しんでいただく事ができました。ご利用者のいろんな笑顔を見ることができ、サポートする職員にとっても、有意義な活動になっています。今後も皆さんと楽しめる活動を行っていききたいと思いますので、機会があれば是非、ご参加ください。



グループOTは、入所ご利用者の生甲斐づくりを目的に、作業療法士・管理栄養士等の職員が行っている活動です。2014年度から活動しており、今年度は、喫茶グループ、生産活動グループで活動を行いました。喫茶グループは、話し合いを月に1回、喫茶の開催を月に1回行っています。話し合いは、喫茶の開催に向けて、ご利用者間でコミュニケーションを図り、意志決定をしています。喫茶は食堂で開催しています。ご利用者が喫茶店のウェイトレス・ウェイターになり、お客さん（他のご利用者、職員、ご家族）から注文を取ったり、飲み物を運んだりします。生産活動グループは、くるみボタン・カレンダー表紙・手提げバッグなどをご利用者が作製し、できた作品を冬祭りで販売しています。



事業紹介～児童発達支援ひまわり編～

ひまわりは、子ども達とお母さんやお父さん達が、楽しい雰囲気の中でおもいっきりあそんでいる場所です。音楽に合わせて体操したり、ブランコに揺られたり、体を動かす運動あそびをしています。他にも季節にちなんだ製作をする造形あそびや、歌や楽器を使って音楽を味わう音楽あそび、忍者や動物などに变身するごっこあそびなど色々なあそびを楽しんでいます。入園式・卒園式・遠足・夏祭り・クリスマス会・保護者研修会（姿勢・調理栄養・防災・歯科など）の行事もあり、笑いあり涙ありの経験がたくさんできるプランを実施しています。個人個人で様々な背景や課題がある中、保育では子ども達はもちろん家族や職員が笑顔いっぱい雰囲気の中で過ごしています。南河内地域の重症心身障がい児を対象に在宅から社会集団への適応を促進することを目的として、発達支援・育児支援・地域移行支援を保育士・理学療法士・作業療法士・看護師の専門スタッフによるプログラムを展開しています。



四天王寺和らぎ苑 季刊誌

和っはっはっ

第65号 冬号 発行月：令和2年1月



◇新年のご挨拶◇



施設長



塩川 智司

明けましておめでとうございます。本年がより明るい年になりますように、「和っはっはっ」から新年のご挨拶を申し上げます。

元号が令和に改まり初めてのお正月を迎えました。新元号の“令和”には春の訪れを告げて咲く梅の花のように、国民一人ひとりが明日への希望にもえ、大きな花を咲かせることができるようにとの思いが込められ決定されました。本年はこの元号をむねに、利用者さんお一人おひとりの人生が、より豊かなものになりますように取り組んでいきたいと考えています。四天王寺和らぎ苑は、正式には「医療型障害児入所施設／療養介護」と呼ばれ、医療的依存度の高い利用者さんの病態を改善させ、治療するという医療の提供が一つの役割です。このために医師、看護師、療法士などの医療職は、医療を駆使して利用者さんのADL(日常生活動作)を改善させ、より健康で快適な生活が送れるよう支えています。そして、もう一つの役割は、生活の場の提供です。日常生活を支えるのはおもに福祉職・支援員で、看護師、療法士も関わります。さらに、一番大切な役割が豊かな“育(はぐくみ)”すなわち、生きるよろこび『いのちの彩り』を提供することです。医療は、生きる基盤であり、三角ピラミッドの底辺、土台として、快適な日常生活を支え、さらにその上に『いのちの彩り』が花開くと考えます。安心できる空間での日中の活動をとおしてさまざまなことを経験し、喜び、楽しみを感じ、成長発達できる環境づくり施設づくりに努めたいと考えます。何より大切なのは多職種間の連携、チームワークです。昨年のラグビーワールドカップでは、ワンチームのスローガンのもと、チームが一つになって見事な成果を上げました。私たちも子どもたち、利用者さんの笑顔のために『明日への希望と、大きな花』が開くよう、和で結ばれたワンチームになればと願います。

発行者：四天王寺和らぎ苑 広報委員会

四天王寺和らぎ苑

ホームページ

〒584-0082 富田林市向陽台1-3-21

四天王寺和らぎ苑

検索

TEL：0721-29-0836(代) FAX：0721-29-3916

E-mail：yawaragien@shitennoji-fukushi.jp